

事例検討

～ 栄養マネジメント講座 ～

2020.10.10 (土)

(社)豊島区社会福祉事業団

特別養護老人ホーム 風かおる里

管理栄養士 高橋 樹世

事例検討：経口維持（K様）

〔特養入所時の情報〕

86歳 女性 要介護度4

〔経緯〕

グループホームで生活してきたが、誤嚥性肺炎の診断で2回入院したことがある。

〔入所目的〕

自分でできないことが増え、グループホームでの生活が難しくなってきた為特養入所を希望した。

病院からの情報

[既往歴]

誤嚥性肺炎、アルツハイマー型認知症、腰椎圧迫骨折

[身体状況]

身長:135cm 体重:32kg BMI:17.6

[血液検査データ]

血清アルブミン値:3.2g/dl

[褥瘡] なし

グループホーム職員からの情報

- ・食事形態 (主食)全粥 (副食)ひと口大の刻み食
硬いものは口から出してしまうので、必要に応じて細かく刻むなどの対応をしている
- ・水分 200ccの水分に対して小さじ1程度のとろみを加えている
- ・食欲があり、自力摂取可能である
- ・総義歯を使用している
- ・食べるペースが早く、隣席の食事に手を伸ばすこともある
- ・時々、食事中にむせることがある
- ・腰椎圧迫骨折の既往があり、円背である

入所直後のKさんの食事観察をしてみましょう

- 食事観察のポイントを5個以上あげてみましょう
- あなたならどのようなプラン(方針)を立てますか？

